

夏号 (一社)神事協 よこはま

2022.6. No.19



高層純木造耐火建築物

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 横浜支部

<https://www.kkj-yokohamal.jp>

E-mail : yokohamashibu@kkj-yokohamal.jp

Contents

- 第10回定時総会を終えて…02
- 定時総会記念講演について…02
- 建築しごと展実行委員会活動…03
- 景観・まちづくり特別委員会活動…03
- 木造専門委員会活動…03
- 事務所の仕事紹介…04
- 新入会員紹介…04
- 横浜支部 会勢報告…04

第10回定時総会を終えて

支部長 小澤 勝美

(一社) 神奈川県建築士事務所協会横浜支部第10回定時総会が4月25日(月)午後2時30分より横浜市技能文化会館にて開催されました。今年も新型コロナウイルスの影響で横浜支部会員の書面表決で行いました。その結果、会員総数246名(過半数124名)のうち書面表決提出数155名、第1号議案「令和3年度事業報告承認の件」及び第2号議案「令和3年度決算報告承認の件」とともに全員の賛成で可決されたことをご報告します。

相変わらずのコロナ禍ではありますが、人の流れが増えています。新幹線をはじめとする交通機関も満席の表示も見るようになり、アフターコロナの時期に入ったと思います。新たな感染症の危惧はありますが、感染対策を取りながら対面での活動を増やしていきたいと考えています。まず、本会での地引網大会やスポーツ大会への参加です。また、貸切バス利用の見学会や各ブロックの地区活動の再開、対面でのセミナーや講演会の開催等を考えています。

今年度はアフターコロナ予算として200万円程度の補正予算を計上しました。具体的には、本会事業への参加費補助の増額、(一社)日本建築士事務所協会連合会

(日事連)全国大会(熊本)参加費用補助増額、横浜市の公共建築が100周年を迎えることにより、市と協働で行うしごと展の充実、日事連単位会支援事業の「(仮)持続可能な神奈川の住まい・まちづくりを考える」の発足、日事連発行予定の景観・まちづくり専門委員会発行誌の支部会員全員への配布等です。

今回は一生に一度の機会と捉えつつ、今後も起こりうることだと考え、各自の建築士という環境の中で、BIMや脱炭素、木材利用促進等の新たな技術の研鑽や少子高齢化による人材育成等、我々の知恵を發揮することが求められます。今後も、建築士事務所の地位向上と地域の建築文化の更なる貢献に向けて活動していくりますのでよろしくお願ひいたします。



総会挨拶

定期総会記念講演について(セントラル関内のまちづくりビジョン)

記念講演講師／横浜市まちづくりコーディネーター 大木 淳

「関内」は地名ではありません。横浜開港のためにつくられた開港場に閑所を設け、「関(所)」の「内(側)」と呼ばれたのが発祥とされています。開港場は現在の中華街を中心とした外国人居留地と、馬車道を中心とした邦人街に区分され、その中間に日本大通りが整備されました。現在、「関内」と呼ばれるエリアはかつての邦人街一帯を指し、「セントラル関内」とは、4つの大通りに囲まれた約15haのエリアにおいて、市庁舎移転をはじめとした周辺での大規模開発が進行する中で、古くからの業務街の将来性や古き良きものへの回帰に注目が集まるところで生まれた呼称です。

現在のセントラル関内は、高い交通利便性に加え、関東大震災の復興期に整備された100m×50mの街区を基本としたヒューマンスケールな街並みが残り、かつても今も業務・商業の集積地であるとともに、近年では居住地としても注目されています。

一方、古い建物の点検整備や更新が進まないことによる防災面の懸念やオフィス需要の低下、緑が少ないこと、住民増加に伴う治安対策の他、地域コミュニティの把握と再編が求められるなど、多くの課題を抱えてい

ます。

「関内まちづくり振興会」では、「人とつながるまち・セントラル関内～歴史と文化の香る、次世代コミュニティーの充実したまち～」を理念に、「住みたくなる・歩きたくなる・訪れたくなる」まちを目指し、これまでにも路上を活用したイベントや関係者を招いたシンポジウムを実施してきました。

現在、建築・まちづくりの専門家を交えた「まちづくりサロン」の設置も企画しており、市民・事業者・行政等の協働によって多くの知見を求めながら、将来のまちづくりに向けたビジョンを模索している段階です。



セントラル関内MAP



講演風景

建築しごと展実行委員会活動

副支部長 稲毛 恒男

今年度の建築しごと展は、横浜市公共建築100周年事業とのコラボイベントとして11月の土曜日一日のみの開催となりました。

会場は横浜市役所1階アトリウムの一角。神事協横浜支部のほか、横浜市、(公財)横浜市建築保全公社などの建築関連団体が各々こどもを対象とした参加型のワークショップを開催します。

多くの来場者が見込めるこの大イベントを活用すべく、横浜支部では折り紙建築のワークショップのほか、建築相談、デジタルサイネージなどを使った建築士事務所の仕事紹介など、現在横浜市と打合せを行い、企画内容の検討を重ねているところです。

建築しごと展実行委員会では昨年に引き続き同じメンバーで毎月1回Web会議を行っております。イベントの詳細が決まりましたら改めてご紹介しますので、是非ご来場ください。



横浜市公共建築100周年ロゴ



昨年のワークショップの様子

景観・まちづくり特別委員会活動

委員長 寺本 勉

景観・まちづくり特別委員会では、景観整備機構指定勉強会を毎年開催しています。

今回のテーマは「建物×不動産で活用する事例を学ぶ」～みんなでいっしょにまちづくりを～ということで令和4年3月25日（金）に開催しました。

主な内容としては、第一部において機構や相模原市景観資源について、第二部では、県内他事例として伊勢原市における景観重点地区についてを紹介しました。

そして、今回の目玉は、景観資源を維持保全するためには必要な知識として建築だけでなく「不動産」にも注目する必要があるということで、さまざまな取り組みをされている株式会社エンジョイワークスの活動と解説を事前

に収録したインタビューの放映とともに紹介をしました。詳しくは委員会サイトにて配信していますのでぜひご覧ください。



<https://j-kana.or.jp/kmachi/>



木造専門委員会活動

副支部長 千賀 浩一

本委員会は、今年度より新委員長となり、新型コロナの影響も多少改善されてきていることなどから、多くの講習会・見学会の企画が上がっています。既に5月には木造の基本講座の1回目として、4号特例縮小に向けての講習会を行いました。

仕様規定を正確に知るということで、今まで多少ともなおざりにしていたことを、改めて細かく知ることが出来た有意義な講習会でした。今回からのこの基本講座は「若手育成+熟練再確認」を掲げて、7月には改正建築士法対応の図書作成注意点、9月は小規模木造の計画段階の構造検討、11月は耐震診断・改修の見方・注意点等を予定しています。

また、都市木造の防耐火、伝統的構法の見学会・設計法の講習会も企画しています。講習会は基本WEB利用になると思いますが、支部の皆様は本会からの案内にご注意いただき、是非ともご参加下さい。

なお、本委員会は委員も募集していますのでご協力のほどよろしくお願いいいたします。



講習会

事務所の仕事紹介

南ブロック長 鈴木 武昭

構造専門で創業53年目の(株)エスシー・テクニカです。普段は新築の構造設計、耐震診断・補強をしていますが、珍しく構造を活かした意匠設計を行いました。市営地下鉄の港南中央駅の出入口にある大屋根です。エレベータ、エスカレータ、階段が別棟で並んでいるのですが、全て高さも意匠も異なるので屋根を高くしてクリアしています。片持柱を敷地ギリギリに立て、柱と鋼管杭をボルトで直接繋ぐ工法を採用しました。つまり地中梁が無い構造です。杭と柱が一体になり、片持柱で片持床を支える、という厳しい設計条件になりましたが何とかクリアしました。



港南中央駅大屋根

屋根は波板形状のガラスです。重いので荷重的には厳しかったのですが、そこはこだわりました。

しつと建っていますが、面白い物が出来たと自負しています。



港南中央駅大屋根アップ

新入会員紹介

中地区 加藤 直樹

今年度入会させていただきました、建築設計加藤住吉の加藤直樹と申します。我々は加藤直樹と住吉かほりの夫婦でやらせていただいております。中区で事務所を作って10年になりました。横浜市の公共建築から店舗内装など様々な仕事をさせていただいております。代表的なプロジェクトを2件紹介させていただきます。

「中区役所本館改修工事」は前川國男氏が設計した横浜市中区役所のエントランスと外構を改装したプロジェクトです。当時の意匠を継承しつつ、現代的な印象になるようなデザインをし、長く愛され、地域を豊かにする公共施設を目指しました。

「タカナシミルクレストラン」はみなとみらい東急スク

エアにある乳製品のおいしさを届けるレストランです。半個室やテラス席などの席を用意し何度も来ても楽しいプランニングを行いました。



中区役所本館



タカナシミルクレストラン

ようこそ ■令和3年12月11日から令和4年6月1日までに入会された事務所の方々					プロック長さん・地区長さん新入会員です。よろしくお願ひいたします。				
地区名	氏名	事務所			〒	住所			
神奈川	野竹 幸朋	株式会社WAKUWAKU二級建築士事務所			221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町1-1-2			
中	辻村 英雄	レイズネクスト株式会社一級建築士事務所			231-0062	横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル			
中	安富 大樹	くらしの相談室一級建築士事務所			231-0003	横浜市中区北仲通3-33 閑内フューチャーセンター#136			
中	加藤 直樹	建築設計加藤住吉一級建築士事務所			231-0063	横浜市中区花咲町1-2 リバーサイド桜木町703			
中	岸本 和彦	有限会社acaa建築研究所			231-0868	横浜市中区石川町2-78-10-402			

退会 ■令和3年12月から今までに退会された事務所の方々									
地区名	事務所		氏名	地区名	事務所		氏名		
西	シバタホームサービス	柴田 香代子	磯子・金沢	末木建築設計事務所	末木 和彦				
西	株式会社二十一設計一級建築士事務所	桑田 哲司	港南	株式会社エスオー	宗 貴之				
中	リストコンストラクション株式会社一級建築士事務所	根岸 孝幸	港北	日生住宅株式会社一級建築士事務所	長瀬 正行				
南	有限会社石川石材店一級建築士事務所	石川 秋男	港北	有限会社川俣工務店一級建築士事務所	川俣 有希子				

会勢報告	令和4年6月1日現在												
プロック名	東		中		南		西		北		合計		
地区名	鶴見	神奈川	西	中	保土ヶ谷	南	磯・金	港南	旭・泉・瀬	戸・栄	港北	緑・青	都筑
事務所数	18	30	23	46	4	10	14	16	17	20	21	18	9
													246

発行:令和4年6月夏号 (No.19)
発行人:小澤 勝美
発行所:一般社団法人
神奈川県建築士事務所協会 横浜支部
〒231-0032
横浜市中区不老町3-12加瀬ビル201 2F
TEL.045-226-3551 FAX.045-226-3552
担当副支部長:梅原義信
広報・企画委員:堀池恒史 雨森隆子
鈴木武昭 白川 幹 小河泰隆
表紙写真撮影:梅原建築設計事務所
梅原義信
事務局:小島寿江 (ひさえ)